

桜まつりの川床

栃木県宇都宮市釜川におけるパブリックスペースのデザイン

設計:宇都宮大学安森亮雄研究室

〒321-8585

栃木県宇都宮市陽東7-1-2 宇都宮大学工学部8号館2階

tel/fax 028-689-6185

e-mail yasumori@cc.utsunomiya-u.ac.jp

施工:宇都宮大学安森亮雄研究室, (株)興建

Riverbed of Cherry Blossom Festival

Design of Public Space in Kama - River in Utsunomiya City, Tochigi

Architect: Yasumori Lab, Utsunomiya University

〒321-8585

Yoto 7-1-2, Utsunomiya, Tochigi 321-8585, Japan

tel/fax 028-689-6185

e-mail yasumori@cc.utsunomiya-u.ac.jp

Construction: Yasumori Lab, Kohken



図1 水面をはさんでレベルを変えて配置された5つの川床

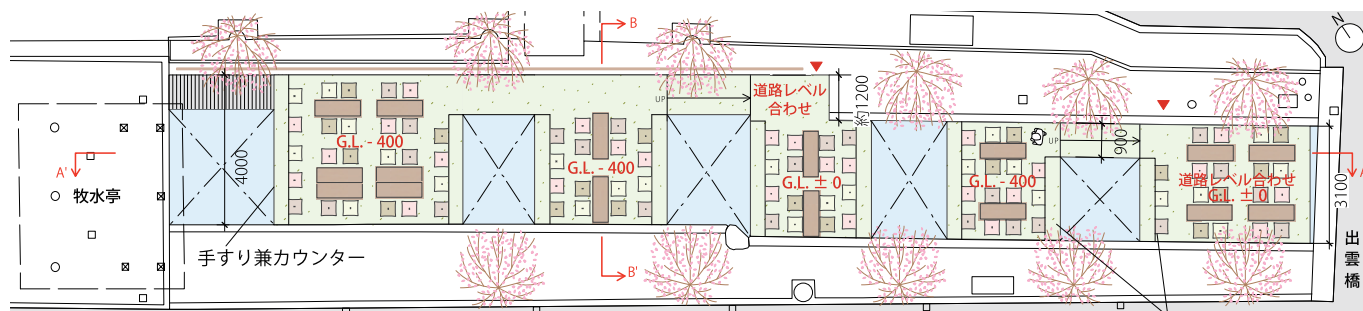


図2 平面図 (縮尺=1/200)

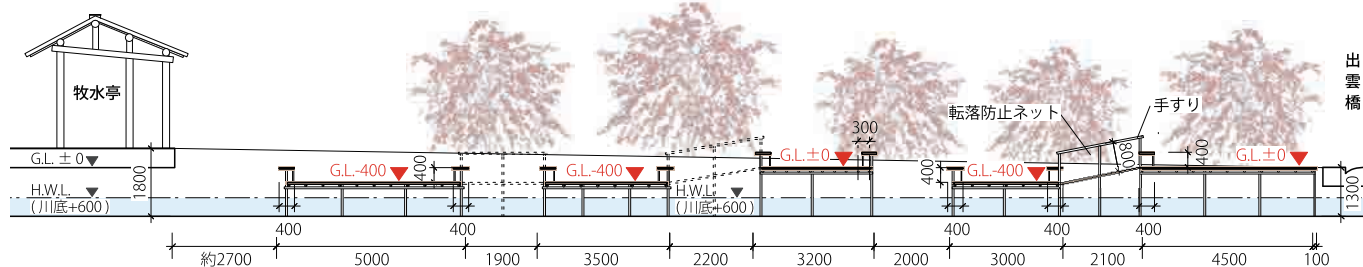


図3 長手断面図 (縮尺=1/200)

栃木県宇都宮市で行われた「釜川枝垂れ桜まつり」の会場デザイン。釜川は氾濫防止のために1980年代後半に二層構造に改修され、その後プロムナードが整備された。前年11月の「釜川20周年まつり」(前編)に引き続き、枝垂れ桜のある約30mの区間で開催された桜まつりのために、川床をデザインした。川幅約3m、川底まで平均約1.5mという親密感のあるスケールに対して、6帖から10帖程度の5つの川床を、水面をはさみながら、道路レベルと水面に近いレベルの2つの高さに配置した。構造は単管足場に合板を載せ、川に面する床端部にカウンターを設けている。すだれやシャンデリアのような枝垂れ桜と、カウンターのある川床によって、「都市の部屋」のようなパブリックスペースを創出し、新たな人の居場所と都市の風景を提供することを意図した。

